

2023年5月1日

株主各位

アジア開発キャピタル株式会社
代表取締役社長 孫 田夫
問合せ先 IR・総務チーム
(TEL.03-5534-9614)

非上場化に伴う組織体制の変更等について

既にご承知のとおり、弊社は、令和5年3月29日の株式会社東京証券取引所の決定により、同年4月30日を持ちましてスタンダード市場への上場を廃止しました。上場維持に対して強い期待を寄せてくださっておりました株主の皆様には、上場廃止に伴い、多大なご心配とご迷惑をおかけしまして大変申し訳ございません。

弊社は、ご承知のとおり、令和3年8月7日付にて特設注意市場銘柄に指定され、その後、令和4年2月から新たな社外役員を迎え、経営陣の監督と内部管理体制の強化のために経営等監視委員会を立ち上げました。同年3月31日付にて改善計画を開示し、同日以降、当該改善計画に基づく内部管理体制の改善・強化に努めて参りました。同年9月28日には、経営等監視委員会等の活動により役員間の牽制が機能しつつあるなど一定の評価をいただき、特設注意市場銘柄の継続の決定をいただきました。同年9月13日開催の第102回定時株主総会継続会及び同日付取締役会を通じて確立された現経営体制において、特設注意市場銘柄の指定継続の決定を受け、指定継続期間（6か月）内に残る課題を改善するべく、その対応に邁進して参りましたが、結果として、誠に残念ではありますが前述のとおり株式会社東京証券取引所より上場廃止の決定をいただくこととなりました。

この間、経営等監視委員会をはじめとし、弊社の役職員は、特設注意市場銘柄の指定解除に向けて最大限の努力をし、内部管理体制の改善に大きな成果をあげてきましたが、経営等監視委員会の立上時期を含み、弊社の特設注意市場銘柄の指定解

除に向けた対応が本来のスケジュールより半年以上遅れて進行していたことなどから、弊社としてその成果を十分に生かすことができませんでした。

今後、弊社は、非上場会社に求められる意思決定の迅速化とコスト削減を速やかに実現し、組織と事業を最適化し、引き続き業務を継続して参る所存です。

手始めに、非上場化に伴う組織体制の最適化の一環としまして、上場維持並びに上場会社としてのガバナンス及び経営の専門家として弊社役員体制に参画しておりました後掲の役員につきましては、その役割を終えたことから、本日の臨時取締役会を通じ、弊社の取締役を退任することとなりました。なお、孫田夫外1名につきましては、引き続き、その専門性を活かし、弊社の子会社であるワンアジア証券株式会社の経営に専念して参る所存です。

本日より、弊社は、後掲の新役員体制のもと、非上場会社として経営を再スタートいたします。今後の具体的な経営方針等につきましては、皆様にご報告できる状態になりましたら速やかに弊社ホームページを通じてご報告申し上げます。

末筆になりますが、改めまして、上場廃止となりましたこと、心より深くお詫び申し上げます。

(新役員体制)

代表取締役社長 徐 天雄
社外取締役 山田 幸平
社外取締役 伊藤 翔汰

(退任役員)

代表取締役社長 孫 田夫
取締役 小清水 裕
社外取締役 池田 誠
社外取締役 但野 秀光